

13. アスター

・殺菌剤（参考農薬）

FRAC コード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
M3+1	ホームイ水和剤	30分間種子浸漬	は種前	1回	
		種子粉衣			

注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決められているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。

注2) 蚕毒・魚毒については、「28. 花き類の総括注意」も参照する。

病害虫名（F：菌類病、B：細菌病、V：ウイルス病、O：その他の病原体）

病害虫名	防除時期	防 除 方 法	注 意 事 項
萎 凋 病 (F)	生 育 期 間	1. 発病ほ場では、土壌消毒を徹底する。 2. ほ場の排水性向上に努める。 3. 多発ほ場では連作しない。 4. 前作の発病株残渣は、ほ場外に埋却する。 5. 本病に対しては耐病性の品種間差があるので、発病ほ場ではできるだけ耐病性を有する品種を用いる。	1. 本病は土壌伝染性の難防除病害である。 2. 小輪系品種は罹病しやすい傾向がある。
苗 立 枯 病 (F)	は 種 前	[参考農薬] 1. ホームイ水和剤 200 倍液に 30 分間種子浸漬処理するか種子重量の 1.0%を種子粉衣処理する。	1. 消毒液の残液については、農薬廃液処理装置を用いて処理するか、産業廃棄物処理業者に処分を依頼する等適正に処理する（特別指導事項参照）。

14. 宿根アスター

・殺菌剤

FRAC コード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
M5	ダコニール1000	散布	発病前～発病初期	6回以内	花き類・観葉植物(ばら、きく、フェリツグ、ゆり、りんどうを除く)

注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決められているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。

注2) 蚕毒・魚毒については、「28. 花き類の総括注意」も参照する。

病害虫名（F：菌類病、B：細菌病、V：ウイルス病、O：その他の病原体）

病害虫名	防除時期	防 除 方 法	注 意 事 項
斑 点 病 (F)	生 育 期 間	1. 発病を見たら、直ちに罹病部を除去し、薬剤を散布する。 2. ダコニール1000の1,000倍液を散布する。	1. 窒素過剰は発病を助長する。